

〔第一問〕

問1 一般商品売買

1. 商品有高帳

商 品 有 高 帳

(単位:円)

日付	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
①	前 期 繰 越	1,250	1,000	1,250,000				1,250	1,000	1,250,000
②	仕 入 入	4,000	1,000	4,000,000				1,250	1,000	1,250,000
③	仕 入 戻 し				100	1,000	100,000	1,250	1,000	1,250,000
④・⑤	仕入値引・割戻						195,000	1,250	1,000	1,250,000
⑥	売 上				※ 1,000	1,000	1,000,000	250	1,000	250,000
⑧	売 上				250	1,000	250,000			
					3,200	950	3,040,000	700	950	665,000
⑨	売 上 戻 り	400	950	380,000				1,100	950	1,045,000
	次 期 繰 越				1,100	950	1,045,000			
		5,650		5,630,000	5,650		5,630,000			

※ 問題用紙における売上原価勘定の借方における⑥の金額が「1,000,000」と記載されているため、前期繰越高から払出が行われていると判断できる。

そのため、払出原価の計算方法は「先入先出法」を採用している。

2. 仕訳及び勘定記入

(1) 仕訳

① 前期商品繰越高

(借) 商	品	1,250,000	(貸) 残	高	1,250,000
-------	---	-----------	-------	---	-----------

② 当期仕入 (すべて掛)

(借) 商	品	4,000,000	(貸) 買	掛	金	4,000,000
-------	---	-----------	-------	---	---	-----------

③ 当期仕入分に対する返品

(借) 買	掛	金	100,000	(貸) 商	品	100,000
-------	---	---	---------	-------	---	---------

※ 100個 (返品数量) × @1,000円 (原価) = 100,000円

④ 当期仕入分に対する値引

(借) 買	掛	金	100,000	(貸) 商	品	100,000
-------	---	---	---------	-------	---	---------

⑤ 当期仕入分に対する割戻

(借) 買	掛	金	95,000	(貸) 商	品	95,000
-------	---	---	--------	-------	---	--------

⑥ 売上 (すべて掛)

(借) 売	掛	金	1,800,000	(貸) 売	上	1,800,000
(借) 売	上	原 価	1,000,000	(貸) 商	品	1,000,000

※1 売上高: 1,000個 (販売数量) × @1,800円 (売価) = 1,800,000円

※2 売上原価: 商品有高帳を参照

⑦ 取引⑥についての値引額

(借) 売	上	100,000	(貸) 売	掛	金	100,000
-------	---	---------	-------	---	---	---------

⑧ 売上 (すべて掛)

(借) 売 掛 金	5,520,000	(貸) 売 上	5,520,000
(借) 売 上 原 価	3,290,000	(貸) 商 品	3,290,000

※1 売上高: 3,450 個 (販売数量) × @1,600 円 (売価) = 5,520,000 円

※2 売上原価: 商品有高帳を参照

⑨ 取引⑧について返品

(借) 売 上	640,000	(貸) 売 掛 金	640,000
(借) 商 品	380,000	(貸) 売 上 原 価	380,000

※1 売上高: 400 個 (返品数量) × @1,600 円 (売価) = 640,000 円

※2 売上原価: 商品有高帳を参照

(2) 勘定記入

		商	品
①	残 高	ア 1,250,000	③ 買 掛 金 100,000
②	買 掛 金	4,000,000	④ 買 掛 金 100,000
⑨	売 上 原 価	(380,000)	⑤ 買 掛 金 95,000
			⑥ 売 上 原 価 (1,000,000)
			⑧ 売 上 原 価 (3,290,000)
			残 高 (1,045,000)
		(5,630,000)	(5,630,000)
		売	上
⑦	(売 掛 金)	(100,000)	⑥ 売 掛 金 (1,800,000)
⑨	(売 掛 金)	イ 640,000	⑧ 売 掛 金 ウ 5,520,000
	損 益	(6,580,000)	
		(7,320,000)	(7,320,000)
		売 上 原 価	
⑥	商 品	1,000,000	⑨ (商 品) エ 380,000
⑧	商 品	(3,290,000)	損 益 オ 3,910,000
		(4,290,000)	(4,290,000)

3. 解答

(1) 当期商品純仕入高: 4,000,000 円 (②仕入) -100,000 円 (③仕入戻し) -100,000 円 (④仕入値引) -95,000 円 (⑤仕入割戻) = 3,705,000 円

(2) 当期商品純売上高: 1,800,000 円 (⑥売上) -100,000 円 (⑦売上値引) +5,520,000 円 (⑧売上) -640,000 円 (⑨売上戻り) = 6,580,000 円

(3) 商品の払出に関する記帳方法: 商品有高帳の※を参照

(4) 総勘定元帳のアカウントに入る金額: 勘定記入を参照

(5) 売上値引を分記法で処理した場合の勘定科目: 売上値引は売価の減額修正であるため、「商品 (原価)」勘定には影響せず、「商品売買益 (利益)」勘定の減少として処理する。

(6) 当期の売上総利益: 6,580,000 円 (純売上高) -3,910,000 円 (売上原価) = 2,670,000 円 ※勘定記入を参照

問2 株主資本

1. 設問1)

新株の発行による払込金額については、原則として「資本金」として計上し、例外として2分の1を超えない額を「資本準備金」として計上することができる。

(借) 当座預金	60,000,000	(貸) 資本金	30,000,000
		(〃) [① 資本準備金]	30,000,000

※1 払込金額：500株×@120千円=60,000,000円

※2 資本金・資本準備金：60,000,000円(払込金額)×1/2=30,000,000円

2. 設問2)

(借) 繰越利益剰余金 [② 15,000,000]	(貸) 損益	15,000,000
------------------------------	--------	------------

3. 設問3)

(1) X2年3月31日 決算

(借) 損益	1,000	(貸) 繰越利益剰余金	1,000
--------	-------	-------------	-------

(2) X2年6月25日 剰余金の配当

(借) 繰越利益剰余金	500	(貸) 未払配当金	500
		(〃) 利益準備金	50

※ 利益準備金

a 準備金計上限度額：10,000千円 (X2年3月31日の資本金) × 1/4 - 500千円 (X2年3月31日の資本準備金) - 1,000千円 (X2年3月31日の利益準備金) = 1,000千円

b 配当額の10分の1：500千円 (配当額) × 1/10 = 50千円

c 準備金の計上額：a > b ∴ 50千円

(3) X2年7月1日 自己株式の取得・消却

(借) 自己株式	800	(貸) 当座預金	800
(借) その他資本剰余金	160	(貸) 自己株式	160

※1 取得単価：800千円 (取得原価) ÷ 100株 (取得株数) = 8千円

※2 自己株式消却損：8千円 (取得単価) × 20株 (消却株数) = 160千円

(4) X2年9月1日 新株の発行と自己株式の処分

(借) 当座預金	1,200	(貸) 資本金	400
		(〃) 資本準備金	400
		(〃) 自己株式	400

※1 自己株式：8千円 (取得単価) × 50株 (処分株数) = 400千円

※2 自己株式処分差損：{ 8千円 (取得単価) - 6千円 (処分単価) } × 50株 (処分株数) = △100千円

※3 資本金・資本準備金：{ 1,200千円 (払込金額) × 150株 (新株発行数) / 200株 (交付株式数) - 100千円 (自己株式処分差損) } × 1/2 = 400千円

(5) X3年3月31日 決算

(借) 損益	1,500	(貸) 繰越利益剰余金	1,500
--------	-------	-------------	-------

(5) 解答

貸借対照表				
X3年3月31日現在				
純資産の部		(単位:千円)		
株主資本				
1. 資本金		(10,400)	
2. 資本剰余金				
資本準備金	(900)		
その他資本剰余金	[③	340]	(1,240)
3. 利益剰余金				
利益準備金	(1,050)		
その他利益剰余金	[④	3,650]	(4,700)
4. 自己株式		△	[⑤	240]
株主資本合計			[⑥	16,100]
※1 資本金: 10,000千円 (X2年3月31日の残高) +400千円 (新株の発行) =10,400千円				
※2 資本準備金: 500千円 (X2年3月31日の残高) +400千円 (新株の発行) =900千円				
※3 その他資本剰余金: 500千円 (X2年3月31日の残高) -160千円 (自己株式消去損) =340千円				
※4 利益準備金: 1,000千円 (X2年3月31日の残高) +50千円 (剰余金の配当に伴う計上) =1,050千円				
※5 その他利益剰余金: 1,700千円 (X2年3月31日の残高) +1,000千円 (X1年度の当期純利益) -550千円 (剰余金の配当) +1,500千円 (X2年度の当期純利益) =3,650千円				
※6 自己株式: 800千円 (取得額) -160千円 (消去額) -400千円 (処分額) =240千円				

4. 設問4)

(1) 自己株式の保有額

貸借対照表		(単位:千円)	
諸 資 産	240,000	諸 負 債	180,000
		資 本 金	20,000
		資 本 準 備 金	2,000
		そ の 他 資 本 剰 余 金	6,000
		利 益 準 備 金	2,000
		任 意 積 立 金	14,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	5,000
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,000
		土 地 再 評 価 差 額 金	6,000
		新 株 予 約 権	4,000
		自 己 株 式	(△ 2,000)
	240,000		240,000

(2) 剰余金の額

6,000千円 (その他資本剰余金) +14,000千円 (任意積立金) +5,000千円 (繰越利益剰余金) =25,000千円

(3) 分配可能額

25,000千円 (剰余金の額) -2,000千円 (自己株式の保有額) -11,000千円 (※) =12,000千円

※ 50,000千円 (のれん) × 1/2 +10,000千円 (繰延資産) - {20,000千円 (資本金) +2,000千円 (資本準備金) +2,000千円 (利益準備金)} =11,000千円

5. 設問5)

(借) 関係会社株式	11,200	(貸) その他資本剰余金	11,200
------------	--------	--------------	--------

※ 200株 (F社株式) × 0.7 (交換比率) × @80千円 (E社株式の時価) =11,200千円

〔第二問〕

問1 為替予約

1. 振当処理 (例外的な処理方法)

(1) X18年9月1日 輸出時

(借) 売 掛 金	517,500	(貸) 売 上	517,500
-----------	---------	---------	---------

※ 4,500千ドル (外貨建輸出額) × 115円 (X18年9月1日の直物為替相場) = 517,500千円

(2) X19年2月1日 為替予約時

(借) 為 替 差 損 益	13,500	(貸) 売 掛 金	4,500
		(〃) 前 受 収 益	9,000

※1 売掛金: 4,500千ドル (外貨建輸出額) × 114円 (X19年2月1日の先物為替相場) - 517,500千円 (輸出時計上額) = △4,500千円

※2 為替差損益: 4,500千ドル (外貨建輸出額) × {112円 (X19年2月1日の直物為替相場) - 115円 (X18年9月1日の直物為替相場)} = △13,500千円 (為替差損)

※3 前受収益: 4,500千ドル (外貨建輸出額) × {114円 (X19年2月1日の先物為替相場) - 112円 (X19年2月1日の直物為替相場)} = 9,000千円 (為替差益)

(3) X19年3月31日 決算時

(借) 前 受 収 益	3,000	(貸) 為 替 差 損 益	3,000
-------------	-------	---------------	-------

※ 9,000千円 (為替予約時計上額) × 2か月 (X19年2月から3月) / 6か月 (X19年2月から7月) = 3,000千円

(4) X19年7月31日 決済時

(借) 現 金 預 金	513,000	(貸) 売 掛 金	513,000
(借) 前 受 収 益	6,000	(貸) 為 替 差 損 益	6,000

※1 現金預金: 4,500千ドル (外貨建輸出額) × 114円 (X19年2月1日の先物為替相場) = 513,000千円

※2 為替差損益: 9,000千円 (為替予約時計上額) × 4か月 (X19年4月から7月) / 6か月 (X19年2月から7月) = 6,000千円

(5) 為替差損益

① X18年度: △13,500千円 (為替予約時) + 3,000千円 (決算時) = △10,500千円 (為替差損)

② X19年度: 6,000千円 (為替差益)

2. 独立処理 (原則的な処理方法)

(1) X18年9月1日 輸出時

(借) 売 掛 金	517,500	(貸) 売 上	517,500
-----------	---------	---------	---------

※ 4,500千ドル (外貨建輸出額) × 115円 (X18年9月1日の直物為替相場) = 517,500千円

(2) X19年2月1日 為替予約時

仕 訳 な し			
---------	--	--	--

(3) X19年3月31日 決算時

① ヘッジ対象

(借) 為 替 差 損 益	22,500	(貸) 売 掛 金	22,500
---------------	--------	-----------	--------

※ 4,500千ドル (外貨建輸出額) × {110円 (X19年3月31日の直物為替相場) - 115円 (X18年9月1日の直物為替相場)} = △22,500千円 (為替差損)

② ヘッジ手段

(借) 為 替 予 約 資 産	13,500	(貸) 為 替 差 損 益	13,500
-----------------	--------	---------------	--------

※ 4,500千ドル (外貨建輸出額) × {114円 (X19年2月1日の先物為替相場) - 111円 (X19年3月31日の先物為替相場)} = 13,500千円 (為替差益)

(4) X19年4月1日 期首 (洗替処理を行った場合)

(借) 為 替 差 損 益	13,500	(貸) 為 替 予 約 資 産	13,500
---------------	--------	-----------------	--------

2. X3年度における数理計算上の差異及び過去勤務費用

(1) 数理計算上の差異

12,180千円 (数理計算上の差異の前期繰越) × 20% (年償却率) = 2,436千円

(2) 過去勤務費用

(借) 退職給付引当金	210	(貸) 退職給付費用	210
-------------	-----	------------	-----

※ 6,300千円 (過去勤務費用の当期発生額) ÷ 10年 (償却期間) × 4か月 (X3年12月からX4年3月) / 12か月 = 210千円

問3 連結会計

1. 株式の取得状況、資本の推移 (単位: 千円)

	X18年3月31日		X19年3月31日	
	支	配	獲	得
取得割合	70%		10%	
取得原価	78,690		11,000	
資本金	60,000		60,000	
資本剰余金	15,000		15,000	
利益剰余金	15,000	利益 +9,000	19,000	
		配当 △5,000		
個別上の資本	90,000		94,000	
評価差額	7,700		7,700	
連結上の資本	97,700		101,700	

2. 連結修正仕訳

(1) X18年3月31日の開始仕訳

① 子会社の資産及び負債の時価評価

(借) 諸資産	11,000	(貸) 諸負債	3,300
		(〃) 評価差額	7,700

※1 諸資産 (土地): 23,000千円 (X18年3月31日の土地の時価) - 12,000千円 (土地の帳簿価額) = 11,000千円

※2 諸負債 (繰延税金負債): 11,000千円 (評価益) × 30% (法定実効税率) = 3,300千円

※3 評価差額: 11,000千円 (評価益) × {1 - 0.3 (法定実効税率)} = 7,700千円

② 投資と資本の相殺消去

(借) 資本金 当期首残高	60,000	(貸) 諸資産	78,690
(〃) 資本剰余金 当期首残高	15,000	(〃) 非支配株主持分 当期首残高	29,310
(〃) 利益剰余金 当期首残高	15,000		
(〃) 評価差額	7,700		
(〃) のれん	10,300		

※1 諸資産: X18年3月31日取得のS社株式

※2 のれん: 78,690千円 (諸資産) - {60,000千円 (資本金) + 15,000千円 (資本剰余金) + 15,000千円 (利益剰余金) + 7,700千円 (評価差額)} × 70% (P社の持分割合) = 10,300千円

※3 非支配株主持分: {60,000千円 (資本金) + 15,000千円 (資本剰余金) + 15,000千円 (利益剰余金) + 7,700千円 (評価差額)} × 30% (非支配株主の持分割合) = 29,310千円

(2) X18年4月1日からX19年3月31日の期中仕訳

① のれんの償却

(借) のれん償却額	1,030	(貸) のれん	1,030
------------	-------	---------	-------

※ 10,300千円(のれん計上額)÷10年間(償却期間)=1,030千円

② 当期純利益の非支配株主持分への振替

(借)	非支配株主に帰属する当期純利益	2,700	(貸)	非支配株主持分当期変動額	2,700
-----	-----------------	-------	-----	--------------	-------

※ 9,000千円(当期純利益)×30%(非支配株主の持分割合)=2,700千円

③ 剰余金の配当の取消

(借)	諸 収 益	3,500	(貸)	剰 余 金 の 配 当	5,000
(〃)	非支配株主持分当期変動額	1,500			

※1 諸収益(受取配当金):5,000千円(剰余金の配当)×70%(P社の持分割合)=3,500千円

※2 非支配株主持分:5,000千円(剰余金の配当)×30%(非支配株主の持分割合)=1,500千円

④ 追加取得

(借)	非支配株主持分当期変動額	10,170	(貸)	諸 資 産	11,000
(〃)	連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減	830			

※1 諸資産: X19年3月31日取得のS社株式

※2 非支配株主持分:101,700千円(X19年3月31日のS社における連結上の資本合計)×10%(追加取得割合)=10,170千円

※3 資本剰余金:11,000千円(諸資産)-10,170千円(非支配株主持分)=830千円

3. 解答

連結貸借対照表 (X19年3月31日)

(単位:千円)

諸資産	(① 1,301,310)	諸負債	(789,300)
のれん	(9,270)	資本金	(② 225,000)
		資本剰余金	(③ 74,170)
		利益剰余金	(201,770)
		非支配株主持分	(20,340)
合計	(1,310,580)	合計	(1,310,580)

※ 非支配株主持分:101,700千円(X19年3月31日のS社における連結上の資本合計)×20%(非支配株主の持分割合)=20,340千円

連結損益計算書 (X18年4月1日~X19年3月31日)

(単位:千円)

諸費用	(481,000)	諸収益	(④ 536,500)
のれん償却額	(⑤ 1,030)		
非支配株主に帰属する当期純利益	(⑥ 2,700)		
親会社株主に帰属する当期純利益	(51,770)		
合計	(536,500)	合計	(536,500)

連結株主資本等変動計算書 (X18年4月1日~X19年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			非支配株主持分
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
当期首残高	(225,000)	(75,000)	(180,000)	(29,310)
剰余金の配当			(⑦ △ 30,000)	
親会社株主に帰属する当期純利益			(51,770)	
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		(△ 830)		
株主資本以外の項目の当期変動額(純増額)				(△ 8,970)
当期末残高	(225,000)	(74,170)	(201,770)	(⑧ 20,340)

【第三問】 ※決算整理前残高試算表は「整理前T/B」、決算整理後残高試算表は「整理後T/B」と省略する。

1. 当座預金

(1) 銀行未渡小切手

(借) 当座預金 (X銀行)	1,030,000	(貸) 買掛金	1,030,000
----------------	-----------	---------	-----------

※ 250,000円 (A商事) + 780,000円 (B物産) = 1,030,000円

(2) 銀行引落未通知

(借) 買掛金	150,000	(貸) 当座預金 (X銀行)	150,000
---------	---------	----------------	---------

(3) 水道光熱費引落額の記帳誤り

(借) その他販管費	162,000	(貸) 当座預金 (X銀行)	174,960
(借) 仮払消費税等	12,960		

※1 当座預金: 194,400円 (引落額) - 19,440円 (期中処理額) = 174,960円

※2 その他販管費: 174,960円 (修正額) ÷ {1 + 0.08 (消費税率)} = 162,000円

※3 仮払消費税等: 174,960円 (修正額) ÷ {1 + 0.08 (消費税率)} × 0.08 (消費税率) = 12,960円

(4) 解答

◆ 当座預金 (X銀行) (1): 2,780,000円 (整理前T/B) + 1,030,000円 (未渡小切手) - 150,000円 (引落未通知) - 174,960円 (水道光熱費) = 3,485,040円

◆ 買掛金(2): 13,600,000円 (整理前T/B) + 1,030,000円 (未渡小切手) - 150,000円 (引落未通知) = 14,480,000円

2. 商品

(1) 通常販売分

① 売上戻り

(借) 売上高	200,000	(貸) 売掛金	216,000
(借) 仮受消費税等	16,000		

※1 売掛金: 100個 (返品数量) × 2,160円 (販売単価 (税込み)) = 216,000円

※2 売上高: 216,000円 (税込み) ÷ {1 + 0.08 (消費税率)} = 200,000円

※3 仮受消費税等: 216,000円 (税込み) ÷ {1 + 0.08 (消費税率)} × 0.08 (消費税率) = 16,000円

② 売上戻り考慮後の商品有高帳

商品有高帳

(単位: 円)

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
3/1	前月繰越	5,800	1,000	5,800,000				5,800	1,000	5,800,000
3/8	売上				2,000	1,000	2,000,000	3,800	1,000	3,800,000
3/12	仕入	1,200	1,050	1,260,000				5,000	1,012	5,060,000
3/14	売上				800	1,012	809,600	4,200	1,012	4,250,400
3/18	積送				1,000	1,012	1,012,000	3,200	1,012	3,238,400
3/22	仕入	1,800	1,012	1,821,600				5,000	1,012	5,060,000
3/26	積送				500	1,012	506,000	4,500	1,012	4,554,000
3/28	売上戻り	100	1,012	101,200				4,600	1,012	4,655,200
3/29	仕入	500	1,114	557,000				5,100	1,022	5,212,200
3/31	棚卸減耗				100	1,022	102,200	5,000	1,022	5,110,000
"	次期繰越				5,000	1,022	5,110,000			
		9,400		9,539,800	9,400		9,539,800			

※ 棚卸減耗数量: 5,100個 (期末帳簿棚卸数量) - 5,000個 (期末実在在庫数量) = 100個

③ 売上原価の算定

(借) 仕入高	6,000,000	(貸) 繰越商品	6,000,000
(借) 繰越商品	5,212,200	(貸) 仕入高	5,212,200
(借) 棚卸減耗損	102,200	(貸) 繰越商品	102,200
(借) 仕入高	102,200	(貸) 棚卸減耗損	102,200

② 委託販売分

① 委託商品有高帳

委託商品有高帳

(単位:円)

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
3/1	前月繰越	500	1,040	520,000				500	1,040	520,000
3/18	積送	1,000	1,012	1,012,000				1,500		
3/26	積送	500	1,012	506,000				2,000		
3/31	売上				500	1,019	509,500	1,500	1,019	1,528,500
"	棚卸減耗				300	1,019	305,700	1,200	1,019	1,222,800
"	次期繰越				1,200	1,019	1,222,800			
		2,000		2,038,000	2,000		2,038,000			

※ 棚卸減耗数量: 1,500個(期末帳簿棚卸数量) - 1,200個(期末在庫証明書数量) = 300個

② 売上計上

(借) 売掛金	702,000	(貸) 売上高	1,000,000
(借) その他販管費	350,000	(貸) 仮受消費税等	80,000
(借) 仮払消費税等	28,000		
(借) 仕入高	509,500	(貸) 積送品	509,500

※1 売上高: 1,080,000円(税込み) ÷ {1 + 0.08(消費税率)} = 1,000,000円

※2 仮受消費税等: 1,080,000円(税込み) ÷ {1 + 0.08(消費税率)} × 0.08(消費税率) = 80,000円

※3 売掛金: 仕切計算書の手取額で計上

※4 その他販管費: 378,000円(税込み) ÷ {1 + 0.08(消費税率)} = 350,000円

※5 仮払消費税等: 378,000円(税込み) ÷ {1 + 0.08(消費税率)} × 0.08(消費税率) = 28,000円

※6 仕入高: 委託商品有高帳を参照

③ 棚卸減耗

(借) 棚卸減耗損	305,700	(貸) 積送品	305,700
(借) 仕入高	305,700	(貸) 棚卸減耗損	305,700

※ 棚卸減耗損: 委託商品有高帳を参照

④ 積送諸掛

(借) 積送諸掛費	52,000	(貸) 積送品	52,000
(借) 積送品	122,280	(貸) 積送諸掛費	122,280

※1 前月繰越分: 520,000円(原価) × 10% = 52,000円

※2 次期繰越分: 1,222,800円(原価) × 10% = 122,280円

(3) 解答

- ◆ 繰越商品(4): 5,110,000円(商品有高帳)
- ◆ 積送品(5): 2,090,000円(整理前T/B) - 509,500円(3月販売分) - 305,700円(棚卸減耗) - 52,000円(積送諸掛) + 122,280円(積送諸掛) = 1,345,080円
- ◆ 仕入高(4): 76,888,000円(整理前T/B) + 6,000,000円(通常販売の期首商品) - 5,212,200円(通常販売の期末商品) + 102,200円(通常販売の棚卸減耗) + 509,500円(委託販売の売上原価) + 305,700円(委託販売の棚卸減耗) = 78,593,200円
- ◆ 積送諸掛費(5): 2,010,500円(整理前T/B) + 52,000円(前月繰越分) - 122,280円(次期繰越分) = 1,940,220円

◆ 売上高② : 158,000,000円 (整理前T/B) -200,000円 (売上戻り) +1,000,000円 (委託販売) =158,800,000円

3. 売掛金

(1) 決算整理仕訳

(借) その他販管費	480,000	(貸) 売掛金	518,400
(〃) 仮払消費税等	38,400		

※1 その他販管費 : 518,400円 (税込み) \div {1 + 0.08 (消費税率)} = 480,000円

※2 仮払消費税等 : 518,400円 (税込み) \div {1 + 0.08 (消費税率)} \times 0.08 (消費税率) = 38,400円

(2) 解答

◆ 売掛金② : 14,800,000円 (整理前T/B) -216,000円 (売上戻り) +702,000円 (委託販売) -518,400円 (運送費立替え) =14,767,600円

4. 貸倒引当金

(1) 一般債権

(借) 貸倒引当金 (流動)	360,000	(貸) その他販管費	360,000
(借) その他販管費	326,952	(貸) 貸倒引当金 (流動)	326,952

※ {1,580,000円 (整理前T/B受取手形) +14,767,600円 (整理後T/B売掛金)} \times 2% (貸倒実績率) =326,952円

(2) 破産更生債権等

① 貸倒処理

(借) 貸倒引当金 (固定)	1,000,000	(貸) 破産更生債権等	2,000,000
(〃) 貸倒損失	1,000,000		

※ 貸倒損失 : 2,000,000円 (債権額) -1,000,000円 (貸倒引当金) =1,000,000円

② 税効果

(借) 法人税等調整額	300,000	(貸) 繰延税金資産	300,000
-------------	---------	------------	---------

※ 1,000,000円 (貸倒引当金) \times 30% (法定実効税率) =300,000円

(3) X社

① 貸倒引当金

(借) その他特別損失	7,500,000	(貸) 貸倒引当金 (固定)	7,500,000
-------------	-----------	----------------	-----------

※1 債務超過額 : 71,000,000円 (諸負債) -63,500,000円 (諸資産) =7,500,000円

※2 貸倒引当金 : 20,000,000円 (債権金額) > 7,500,000円 (債務超過額) \therefore 7,500,000円 (債務超過額)

② 減損処理

(借) 子会社株式評価損	9,999,999	(貸) 子会社株式	9,999,999
--------------	-----------	-----------	-----------

※ 10,000,000円 (整理前T/B) -1円 (備忘価額) =9,999,999円

③ 税効果

(借) 繰延税金資産	5,249,999	(貸) 法人税等調整額	5,249,999
------------	-----------	-------------	-----------

※ {7,500,000円 (貸倒引当金) +9,999,999円 (子会社株式評価損)} \times 30% (法定実効税率) =5,249,999円

(4) 解答

◆ 子会社株式⑩ : 10,000,000円 (整理前T/B) -9,999,999円 (子会社株式評価損) =1円

◆ 子会社貸付金⑪ : 20,000,000円 (整理前T/B)

◆ 繰延税金資産⑬ : 5,249,999円 (X社)

◆ 子会社株式評価損⑱ : 9,999,999円

◆ 貸倒損失⑳ : 1,000,000円 (破産更生債権等)

◆ 貸倒引当金 (流動) ㉑ : 326,952円 (一般債権)

◆ 貸倒引当金 (固定) ㉒ : 7,500,000円 (X社)

5. 圧縮積立金

(1) 減価償却

(借) 減価償却費	500,000	(貸) 機械	500,000
-----------	---------	--------	---------

※ 9,000,000円 (取得原価) ÷ 9年 (耐用年数) × 6か月 (2018年10月から2019年3月) /12か月=500,000円

(2) 圧縮積立金の積み立て、将来加算一時差異の発生

(借) 法人税等調整額	810,000	(貸) 繰延税金負債	810,000
(借) 繰越利益剰余金	1,890,000	(貸) 圧縮積立金	1,890,000

※1 繰延税金負債: 2,700,000円 (保険金) × 30% (法定実効税率) =810,000円

※2 圧縮積立金: 2,700,000円 (保険金) × {1-0.3 (法定実効税率)} =1,890,000円

(3) 圧縮積立金の取り崩し、将来加算一時差異の解消

(借) 繰延税金負債	45,000	(貸) 法人税等調整額	45,000
(借) 圧縮積立金	105,000	(貸) 繰越利益剰余金	105,000

※1 繰延税金負債: 2,700,000円 (保険金) ÷ 9年 (耐用年数) × 6か月 (2018年10月から2019年3月) /12か月×30% (法定実効税率) =45,000円

※2 圧縮積立金: 2,700,000円 (保険金) ÷ 9年 (耐用年数) × 6か月 (2018年10月から2019年3月) /12か月 × {1-0.3 (法定実効税率)} =105,000円

(4) 解答

- ◆ 機械7: 9,000,000円 (整理前T/B) -500,000円 (減価償却) =8,500,000円
- ◆ 圧縮積立金②: 1,890,000円 (積立) -105,000円 (取崩) =1,785,000円
- ◆ 繰越利益剰余金③: 54,677,740円 (整理前T/B) -1,890,000円 (積立) +105,000円 (取崩) =52,892,740円
- ◆ 法人税等調整額④: △300,000円 (破産更生債権等) +5,249,999円 (X社) -810,000円 (機械) +45,000円 (機械) =4,184,999円

6. 差入保証金

(1) 決算整理仕訳

(借) 雑損失	80,000	(貸) 差入保証金	80,000
---------	--------	-----------	--------

※ 3,000,000円 (整理前T/B) × 20% (返還されない割合) ÷ 5年間 (償却期間) × 8か月 (2018年8月から2019年3月) /12か月=80,000円

(2) 解答

- ◆ 差入保証金①: 3,000,000円 (整理前T/B) -80,000円 (償却額) =2,920,000円
- ◆ 雑損失⑧: 80,000円 (償却額)

7. のれん

(1) 減価償却

(借) 減価償却費	1,500,000	(貸) 建物	1,500,000
(借) その他販管費	500,000	(貸) のれん	500,000

※1 建物: 25,500,000円 (整理前T/B) ÷ {20年 (耐用年数) - 3年 (2015年4月から2018年3月)} =1,500,000円

※2 のれん: 3,500,000円 (整理前T/B) ÷ {10年 (耐用年数) - 3年 (2015年4月から2018年3月)} =500,000円

(2) 減損損失の認識・測定

- ① 減価償却後の帳簿価額合計: 24,000,000円 (建物) +18,000,000円 (土地) +3,000,000円 (のれん) =45,000,000円
- ② 減損損失の認識: 45,000,000円 (減価償却後の帳簿価額合計) > 39,000,000円 (割引前将来キャッシュ・フロー) ∴ 減損損失を認識する
- ③ 減損損失の測定: 45,000,000円 (減価償却後の帳簿価額合計) -28,000,000円 (回収可能価額) =17,000,000円

※ 回収可能価額: 28,000,000円 (使用価値) > 29,000,000円 (時価) -5,000,000円 (処分費用見込額) =24,000,000円 ∴ 28,000,000円 (使用価値)

(3) 減損損失の計上

(借) その他特別損失	17,000,000	(貸) のれん	3,000,000
		(〃) 建物	8,000,000
		(〃) 土地	6,000,000

※1 建物: {17,000,000円 (減損損失) -3,000,000円 (のれん)} × 24,000,000円 (建物) / {24,000,000円 (建物) +18,000,000円 (土地)}

=8,000,000円

※2 土地：{17,000,000円(減損損失) - 3,000,000円(のれん)} × 18,000,000円(土地) / {24,000,000円(建物) + 18,000,000円(土地)}
=6,000,000円

(4) 解答

- ◆ 建物6) : 25,500,000円(整理前T/B) - 1,500,000円(減価償却) - 8,000,000円(減損損失) = 16,000,000円
- ◆ 土地8) : 58,000,000円(整理前T/B) - 6,000,000円(減損損失) = 52,000,000円
- ◆ 減価償却費16) : 500,000円(機械) + 1,500,000円(建物) = 2,000,000円
- ◆ その他販管費17) : 2,800,000円(整理前T/B) + 162,000円(水道光熱費) + 350,000円(委託販売) + 480,000円(運送費) - 360,000円(貸倒引当金) + 326,952円(貸倒引当金) + 500,000円(のれん) = 4,258,952円
- ◆ その他特別損失18) : 7,500,000円(貸倒引当金) + 17,000,000円(減損損失) = 24,500,000円

8. 有価証券及び投資有価証券

(1) E社株式

(借) 有 価 証 券	200,000	(貸) 有 価 証 券 運 用 損	50,000
		(〃) 有 価 証 券 運 用 益	150,000

※1 有価証券：3,200,000円(当期末時価) - 3,000,000円(帳簿価額) = 200,000円(評価益)

※2 有価証券運用益：200,000円(評価益) - 50,000円(整理前T/Bの有価証券運用損) = 150,000円

(2) F社株式

(借) 投 資 有 価 証 券	500,000	(貸) 繰 延 税 金 負 債	150,000
		(〃) そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	350,000

※1 投資有価証券：1,500,000円(当期末時価) - 1,000,000円(帳簿価額) = 500,000円(評価益)

※2 繰延税金負債：500,000円(評価益) × 30%(法定実効税率) = 150,000円

※3 その他有価証券評価差額金：500,000円(評価益) × {1 - 0.3(法定実効税率)} = 350,000円

(3) G社株式

(借) 投 資 有 価 証 券	50,000	(貸) 繰 延 税 金 負 債	15,000
		(〃) そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	35,000

※1 外貨建帳簿価額：1,050,000円(円貨建帳簿価額) ÷ 105円(取得時レート) = 10,000ドル

※2 投資有価証券：10,000ドル(外貨建帳簿価額) × 110円(当期末レート) - 1,050,000円(円貨建帳簿価額) = 50,000円

※3 繰延税金負債：50,000円(評価益) × 30%(法定実効税率) = 15,000円

※4 その他有価証券評価差額金：50,000円(評価益) × {1 - 0.3(法定実効税率)} = 35,000円

(4) H社社債

① 期中で行われている処理

a 2018年9月30日 利払日

(借) 現 金	75,000	(貸) 仮 受 金	75,000
---------	--------	-----------	--------

※ 10,000,000円(券面総額) × 1.5%(クーポン年利率) × 6か月(2018年4月から9月) / 12か月 = 75,000円

b 2019年3月31日 利払日

(借) 現 金	75,000	(貸) 仮 受 金	75,000
---------	--------	-----------	--------

※ 10,000,000円(券面総額) × 1.5%(クーポン年利率) × 6か月(2018年10月から2019年3月) / 12か月 = 75,000円

② 償却原価法を適用した場合の処理

a 2018年9月30日 利払日

(借) 現 金	75,000	(貸) 有 価 証 券 利 息	138,000
(〃) 投 資 有 価 証 券	63,000		

※1 有価証券利息：9,200,000円(2018年4月1日の帳簿価額) × 3%(実効利率) × 6か月(2018年4月から9月) / 12か月 = 138,000円

※2 投資有価証券：138,000円(有価証券利息) - 75,000円(クーポン利息) = 63,000円

b 2019年3月31日 利払日

(借) 現 金	75,000	(貸) 有 価 証 券 利 息	138,945
(〃) 投 資 有 価 証 券	63,945		

※1 有価証券利息：9,200,000円(2018年4月1日の帳簿価額) + 63,000円(2018年4月から9月の償却原価法による加算額) × 3% (実効利率) × 6か月(2018年10月から2019年3月) / 12か月 = 138,945円

※2 投資有価証券：138,945円(有価証券利息) - 75,000円(クーポン利息) = 63,945円

③ 決算整理仕訳

(借) 仮 受 金	150,000	(貸) 有 価 証 券 利 息	276,945
(〃) 投 資 有 価 証 券	126,945		

(5) I社株式

① 勘定科目の振替

(借) 投 資 有 価 証 券	2,000,000	(貸) 有 価 証 券	2,000,000
-----------------	-----------	-------------	-----------

② 時価評価

(借) 投 資 有 価 証 券	100,000	(貸) 繰 延 税 金 負 債	30,000
		(〃) そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	70,000

※1 投資有価証券：2,100,000円(当期末時価) - 2,000,000円(帳簿価額) = 100,000円(評価益)

※2 繰延税金負債：100,000円(評価益) × 30%(法定実効税率) = 30,000円

※3 その他有価証券評価差額金：100,000円(評価益) × {1 - 0.3(法定実効税率)} = 70,000円

(6) 解答

- ◆ 有価証券③：5,000,000円(整理前T/B) + 200,000円(E社株式) - 2,000,000円(I社株式) = 3,200,000円
- ◆ 投資有価証券⑨：11,250,000円(整理前T/B) + 500,000円(F社株式) + 50,000円(G社株式) + 126,945円(H社社債) + 2,000,000円(I社株式) + 100,000円(I社株式) = 14,026,945円
- ◆ 繰延税金負債⑩：810,000円(機械) - 45,000円(機械) + 150,000円(F社株式) + 15,000円(G社株式) + 30,000円(I社株式) = 960,000円
- ◆ その他有価証券評価差額金⑪：350,000円(F社株式) + 35,000円(G社株式) + 70,000円(I社株式) = 455,000円
- ◆ 有価証券運用益⑫：150,000円(E社株式)
- ◆ 有価証券利息⑬：276,945円(H社社債)

9. 法人税等

(1) 決算整理仕訳

(借) 法 人 税 等	6,718,471	(貸) 未 払 法 人 税 等	6,718,471
-------------	-----------	-----------------	-----------

※ {162,906,945円(収益合計) - 137,795,371円(費用合計)} × 30%(法定実効税率) + 4,184,999円(整理後T/B法人税等調整額) - 5,000,000円(整理前T/B法人税等) = 6,718,471円

(2) 解答

- ◆ 法人税等⑭：5,000,000円(整理前T/B) + 6,718,471円 = 11,718,471円
- ◆ 未払法人税等⑮：6,718,471円

10. 消費税等

(1) 決算整理仕訳

(借) 仮 受 消 費 税 等	12,772,800	(貸) 仮 払 消 費 税 等	8,454,400
		(〃) 未 払 消 費 税 等	4,318,400

※1 仮受消費税等：12,708,800円(整理前T/B) - 16,000円(売上戻り) + 80,000円(委託販売) = 12,772,800円

※2 仮払消費税等：8,375,040円(整理前T/B) + 12,960円(水道光熱費) + 28,000円(委託販売) + 38,400円(運送費) = 8,454,400円

(2) 解答

- ◆ 未払消費税等⑯：4,318,400円

11. 決算整理後残高試算表

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
現 金	530,000	買 掛 金	(23) 14,480,000
当座預金 (X銀行)	(1) 3,485,040	短 期 借 入 金	1,200,000
受 取 手 形	1,580,000	未 払 金	450,000
売 掛 金	(2) 14,767,600	未 払 法 人 税 等	(24) 6,718,471
有 価 証 券	(3) 3,200,000	未 払 消 費 税 等	(25) 4,318,400
繰 越 商 品	(4) 5,110,000	貸 倒 引 当 金 (流 動)	(26) 326,952
積 送 品	(5) 1,345,080	そ の 他 流 動 負 債	300,000
そ の 他 流 動 資 産	150,000	長 期 借 入 金	14,400,000
建 物	(6) 16,000,000	貸 倒 引 当 金 (固 定)	(27) 7,500,000
機 械	(7) 8,500,000	繰 延 税 金 負 債	(28) 960,000
土 地	(8) 52,000,000	資 本 金	18,000,000
投 資 有 価 証 券	(9) 14,026,945	資 本 準 備 金	3,000,000
子 会 社 株 式	(10) 1	利 益 準 備 金	4,500,000
子 会 社 貸 付 金	(11) 20,000,000	圧 縮 積 立 金	(29) 1,785,000
差 入 保 証 金	(12) 2,920,000	繰 越 利 益 剰 余 金	(30) 52,892,740
繰 延 税 金 資 産	(13) 5,249,999	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	(31) 455,000
仕 入 高	(14) 78,593,200	売 上 高	(32) 158,800,000
積 送 諸 掛 費	(15) 1,940,220	受 取 賃 貸 料	760,000
給 与 手 当	12,000,000	雑 収 入	220,000
賞 与	3,000,000	保 険 差 益	2,700,000
法 定 福 利 費	184,500	有 価 証 券 運 用 益	(33) 150,000
減 価 償 却 費	(16) 2,000,000	有 価 証 券 利 息	(34) 276,945
そ の 他 販 管 費	(17) 4,258,952	法 人 税 等 調 整 額	(35) 4,184,999
支 払 利 息	238,500		
雑 損 失	(18) 80,000		
子 会 社 株 式 評 価 損	(19) 9,999,999		
貸 倒 損 失	(20) 1,000,000		
そ の 他 特 別 損 失	(21) 24,500,000		
法 人 税 等	(22) 11,718,471		
	298,378,507		298,378,507